

アイテム

アートな伊丹を
「観る・行く・体験」

アイテム

2015.7-9 夏号
公益財団法人
伊丹市文化振興財団
TAKE FREE



伊丹市昆虫館の25年は ムシと仲よく ヒトと楽しく

本で解決!
お悩み
相談室

部下が言うことをきいてくれませんか。
どうすればよいでしょう?

(中間管理職さん・40代)

明るく楽しいお悩み募集中 図書館南分館まで!



みなみさんの
オススメ本



本のことなら
おまかせ!
みなみさん

「人に好かれる人嫌われる人の
「もの言い方」
斎藤茂太 / 著
(新講社)

人の上に立つというのも大変そうですね。私自身は、信頼できる好きな上司に言われた事だったら「この人の言う事なら間違いない!」って仕事のやる気が出ちゃいます。中間管理職さんが部下の立場だった頃はどようでしたか? この本を参考にして、部下から大人気の上司を目指してみてもいいかでしょう。

うーん、おじさんにはおじさんの考えがあるんだろうけど、その部下にだって自分の考えがあるんじゃないのか? この本の主人公たちも、お互い自分の考えが正しいと思ってみたいんだけど、それじゃうまくいかないって気付いたみたいだぞ。たまには部下と飲みに行ったらどうだ。もちろんおじさんのおごりでな。

ぶんたくんの
オススメ本



「ノンキーとホンキーの
カレー屋さん」
村上しいこ / 作
こばようこ / 絵
(佼成出版社)

図書館大好き!
ぶんたくん

ラスタホール1Fの図書館
伊丹市立図書館 南分館

南野2-3-25 ☎072-781-7333

アイテム
2015年7月1日発行(季刊夏号・通巻84号)
発行:公益財団法人伊丹市文化振興財団
編集・デザイン/平井和哉(0.1knot)

〒664-0895 伊丹市宮ノ前1-1-3
いたみホール(伊丹市立文化会館)内
tel.072-778-8788 fax.072-778-8585
http://hccweb1.bai.ne.jp/itamihall/zaidan/
e-mail itami-kikaku@bcc.bai.ne.jp



美術館 / 「写楽と豊国」(7/11(土)~8/30(日))
5組10名 ※締切 / 7月31日

プレゼント!
プレゼントをご希望の方は、ハガキまたはメールで
郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、アイテムの感想をご記入の上、
上記、文化振興財団宛「アイテムプレゼント係」まで。
当選の発表はチケットの発送をもってかえさせていただきます。

みやのまえ
文化の郷
美術館
工芸センター
伊丹郷町館
柿岡文庫

ムシと仲良く ヒトと楽しく 伊丹市昆虫館 25周年



カブクワのプロ
タナカさん

事務のプロ
モガワさん

昆虫写真のプロ
オクヤマさん

脱皮のプロ
ノモトさん

飼育のプロ
ミミカワさん

案内のプロ
クラハシさん

伊丹の昆虫
のプロ
カワカミさん

工作のプロ
ナカジマさん

昆虫食のプロ
サカモトさん

飼育のプロ
イノウエさん

むしのうんご
のプロ
カクマサさん

カメムシのプロ
ナガシマさん

ミカンのプロ
オオハシさん

プロフェッショナル軍団

唯一無二のプロ軍団
すべてはムシと
ヒトのために

たっぷりの自然に恵まれた伊丹のオアシス・昆陽池公園内で開館し、今年で25周年を迎える伊丹市昆虫館。市民にはお馴染みであるこの施設は、おそらくは誰もが知らないであろうその道の「プロ」の手により支えられている。と、まあ仰々しく書いてはみたが、上の写真の吹き出しにあるのがそれぞれのスタッフの得意分野なんだけど、もうなんだかマニアック過ぎて笑えてしまうが、しっかり話を聞いてみると、そのこだわりがに驚愕する。まあそりゃそうだ、と思う。自

分とは違う生き物である「ムシ」を来館者に少しでも興味を持ってもらうため、そしてできるだけ多くの種類を見せたい、その生感に触れてもらう。そのためにはどんな「ムシ」なのかという知識はもちろん、どういう環境でどんなエサを食べるのか、どう扱うのがタブーなのか、すべてを熟知していないと「ムシ」は育てられない。すべては「ムシと仲よく、ヒトと楽しく」できる施設であるために。伊丹市昆虫館のスタッフたちは「プロフェッショナル軍団」であり続ける。

次ページからはさらに深層を探るべく館に潜入。お楽しみに！

(ライター／平井和哉)

飼育の技



午前中はチョウの飼育、午後はコオロギやカブトムシの世話、その合間に洗いのもの…とそのダンドリと手さばきはまさに熟練。

飼育専門のスタッフ2〜3人が毎日、13種類650匹ほどの幼虫の飼育作業を一手に担う。

温室を飛ばす多数の蝶も、実は数量コントロールされており、それぞれの幼虫の飼育数は上限目標のもと、日々一定のペースで管理される。キャリアも10年、20年とまさにその道のプロ。

「子育てと同じね。エサである葉の状態が悪ければ、すぐに幼虫の体調は変わるもの。愛情もって見つけてお世話していると、一匹一匹の変化に気づけるものよ」

一見、単調に見える作業であるが、日々の小さな発見にオモシロ

さどやりがいを感じている。

実際、開館から25年。日々小さな工夫を積み重ねていき、飼育方法を変化させていった。容器の消毒方法一つを変えただけで、劇的に幼虫の生存率が上がったこともあり、飼育経験の蓄積やノウハウは、生物の保護などにも役立つ貴重なデータとなっている。

熟練の技の中でも一番難しいことは何か尋ねてみた。

「やっぱり、相手が喋れない分、その状態を一定に保ち、成虫まで育て上げることが一番難しい。交換するエサの量だけとつても、成長に際して、いつも少し残るぐらいにするとか、やっぱり虫の気持ちかわかることがとても大事」

一寸の虫にも五分の魂。その愛情ある眼差しに心が温かくなる。

成虫となり温室に放蝶する際は、晴れやかな気分になると言う。まさに昆虫館の育ての親。今日も黙々と幼虫と会話する飼育スタッフに支えられ、華やかな昆虫館は存在するのだ。



独自のポジションを確立した伊丹市昆虫館の企画力

伝説のオモシロ展覧会 3部作はこれだ!!!!

1 原点であり不動の名作 「むしのうんこ」2004年

ここから伊丹市昆虫館の独自路線は始まった。企画会議の「うんこ、いいよね」という盛り上がり、畜産学部出身の角正学芸員が担当することで華開いた。60種類の「むしのうんこ」はもちろん、30倍の大きさに拡大した「うんこのぬいぐるみ」、「うんこ染め」などユニークな展示の反響は大きく、なんと全国流通図書として絵本化を果たす。「むしのうんこ」（柏書房）は、累計、5版 11,000部、台湾への翻訳出版など、10年以上経っても色褪せないまさに名企画なのだ。



2 マスコミ騒然、 体当たり展覧会 「昆虫食〜ごはん やでえ〜」2007年

プレスリリースした瞬間に、マスコミによる取材依頼が殺到した企画展。担当の坂本学芸員は日本国内のみならず東アジア各国をフィールドワークするなど、ゲテモノではなく、人と虫が培ってきた文化的な視点で紹介した。担当学芸員みずから、実際に食べた味のレポートは秀逸。「クモはかんだ時のにおいが昆虫とは違う！やはり別の生き物だ…」は一時話題となる。あまりの反響ぶりに2015年「昆虫食〜とる・つくる・たべる〜」として再び開催。



3 萌えと虫の 異色コラボレーション 「最強の特別展 カブクワ これくしょん」2014年

伊丹市昆虫館の独自路線が確固たるものとなった昨年に「その手があったか！」と業界関係者が騒然となった展覧会。カブトとクワガタをまさかの萌えキャラで表現しなおし、紹介する展覧会。普段とは違う客層が大挙して押し寄せ、グッズの売れ行きは過去最高記録を打ち出す。とはいえ「わかる人にはわかる」と担当の田中学芸員が言うように、それぞれのクワガタ、カブトムシの性格に即したキャラ設定には、昆虫玄人も唖ったとか。アニメ化を夢見る期待の新星。



今までの歩み、蓄積を展覧会としてまとめた

ベストオブベスト! 25周年、感謝御礼!



特別展

「いたこんニコニコパラダイス」 7/16 (木)~8/31(月)

伝説のあの企画が一堂に。

①特別展示室「いたこん宝物殿 Itakon Hall of Legends」

25年の歩みの中で特に好評だった展示、いわば「レジェンド展示」が一斉に大復活。超豪華な企画です。

さわって感じて楽しんで遊べる体験型展示

②第2展示室「いたこんニコニコランド」

ふれあいコーナー、夜の雑木林再現、虫のトリックアートなど、みんなで楽しめる体験ものがメインの展示室。

館内、すみからすみまでこだわり展示

③その他展示

あのビックビーが女子風にかざりつけ?!
エントランス前も巨大たれ幕。
いたこん初のバイオリンムシの生態展示など、
いつもと違う工夫があちらこちらに!

会期中はイベントも多数開催!

(詳細は書ききれないため、いたこんホームページをご覧ください。
www.itakon.com/)

スペシャル昆虫撮影&観察会

ヘラクレスオオカブト、ハナカマキリ、コーカサスオオカブトなど
開催日によって異なるスペシャル昆虫をカメラにおさめるチャンス!

マニア向け昆虫撮影&観察会

マニア垂涎の超貴重昆虫がやってくる!

学芸員スペシャルトーク

在籍する学芸員が自らの得意分野を存分に語る!
カメムシ、むしのうんこ、カブクワ、昆虫顔面、ミツバチの話題続々。

いたこん昆虫図鑑フレーム切手発売記念! 絵封筒ワークショップ

郵便局とのタイアップ企画。どんどん広がるいたこんの輪!

世界でひとつのオリジナルキーホルダーを作ろう

いたこんを支えてきた友の会メンバーによるイベント。お土産にぜひ。

ノリ 230円

最新オリジナル商品。某観光地でバカ売れていると聞いて
すぐに昆虫館でオリジナル商品化したもの。
実はママさんたちに人気。



缶バッジ 100円~

年間1万個売れる、まさに「缶」板商品。常時100種類ほど並ぶが
実は200~300種類あるとのこと。
写真やイラストも学芸員自ら手掛ける
まさにプレミアム商品だ。

せっかくなら、ヨソでは買えないお土産を ショップ担当スタッフ オススメ即買いグッズ!!



虫の佃煮 350円~1,000円

オリジナル商品ではないがショップ担当が
「うちらしい」とオススメの一品。
「昆虫食」展をきっかけに知り合った専門店から
直接仕入れている。
関西では伊丹市昆虫館のみ取扱い。

Tシャツ 2,600円~

数々揃うレポーターもすべて学芸員による撮影だ。
人気アイドルグループのメンバーが
ゴキブリTシャツを着ていたことから、
全国から注文が殺到する、というヒット商品もあり。



町中が「鳴く虫」一色！ 秋の伊丹の風物詩 10周年



秋の10日間、JR伊丹駅・阪急伊丹駅のエリアを中心とした郷町界隈で、15種類3000匹ほどの鳴く虫が約100カ所で展示されます。軒先、店内、街路樹などから心地よく響く虫の音に、思わず耳を澄ませる人も多はいはず。

また、音楽やワークショップ、講座など各種イベントが50以上開催されることも大きな特徴です。他にも飲食店による限定メニューもあり、まさに町中が「鳴く虫」一色に。

メイン会場でもある「伊丹郷町館」は国、県指定の文化財でもあります。町家、酒蔵で響き渡る虫の音は、まさに幻想的。

一人静かに耳を傾けることも良し、多様なイベントに興じるも良し、伊丹で楽しむ秋の一時をどうぞお楽しみ下さい。

鳴く虫と郷町

2015年9月11日(金)~9月20日(日)
伊丹郷町館「旧岡田家住宅・酒蔵」
「旧石橋家住宅」ほか
※開館時間／10:00~18:00
ただし11日(金)~12日(土)、
18日(金)~19日(土)は21:00まで
特別夜間開館(入館は20:30まで)
14日(月)は休館
問 072-772-5959 (伊丹郷町館)



オススメイベント ホールがまるで大きな森に！

今年で7回目を迎える「鈴虫音楽堂」は、ホール内のいろんなところに虫カゴなどを置き、鈴虫たちの合唱と音楽の競演をお楽しみいただく企画です。天井裏や舞台、客席に置くと、ホール内で虫たちの鳴き声が響きわたり、ほんとうに森の中で音楽を聴いているような錯覚におちいります。そして、不思議なことに、鈴虫たちは音楽に反応して、鳴いたり、やんだり、一緒になってコンサートを盛り上げてくれるのです。

さて、今年、豪華客船・飛鳥IIのクルーズ等でも活躍中のアコースティックデュオ「マリオネット」が登場。ポルトガルのファドからTVC Mの音楽まで、異国情緒あふれる、ノスタルジックな音楽をお届けします。ファドの名曲「暗いはしけ」から、ポピュラーな「蘇州夜曲」まで、ゆったりと心地よい弦の響きをお楽しみください。今年、初のワンコインでの開催ですが、いつもより延長しての60分スペシャルです！お見逃しなく。

伊丹アイフォニックホール内山真理子

貸切！変身！鈴虫音楽堂 vol.7 ポルトガルギター& マンドリン~異郷の香り

出演：マリオネット(湯浅 隆 [ポルトガルギター]
&吉田剛士 [マンドリン])

9月11日(金)19時開演(18時開場)
500円(全席自由)
※0歳から入場可。膝上鑑賞の場合、
3歳未満は保護者1名につき1名無料。

伊丹アイフォニックホール
宮ノ前1-3-30 ☎072-780-2110



9/10 (木) ~ 9/23 (水・祝)

きっと列車の旅に出かけたいくなる

ラストホール



© 関西大学鉄道研究会

50年以上の伝統を誇る関西大学鉄道研究会による鉄道写真の展覧会を開催します。カッコイイ列車の写真から、旅情あふれる作品まで。大人も子どもも楽しめる写真展です。

学生+ラストホール企画

【関西大学鉄道研究会 鉄道写真展】

9/10(木)~9/23(水・祝)、平日/9:00~21:00、日・祝/9:00~17:00。
*9/15休館。最終日は13:00まで。入場無料。072-781-8877

9/12 (土) ~ 10/25 (日)

下駄やそろばんで描く絵って？

美術館



嵐見康夫 (WORK 1956)
1956年
(1993年再制作)

生誕90年を迎える鷺見康夫(伊丹在住/1925-)の既成概念にとわれない絵画と戦後美術の表現の多様さをコレクションの中から紹介します。

COLLECTION 1

カンヴァスよ、汚れよー鷺見康夫の50年代/Hot and Cool

9/12(土)~10/25(日)、10:00~18:00(入館は17:30まで)。
月休(9/21・10/12開館、9/24・10/13振替休館)。一般500円、
大高生250円、中小生100円。072-772-7447

9/18 (金) ~ 9/27 (日)

どんな動物がいるかな？

伊丹郷町館



漫画家、絵本作家などさまざまな造形活動を通して幅広く活躍している毛利泰房さんの石ころアート展を開催します。道や川で見つけた自然のままの石ころにペンや絵具で描いた動物や昆虫が大集合。かわいくて、心温まるアートをお楽しみください。

毛利泰房の石ころアート展

9/18(金)~9/27(日)。伊丹郷町館 旧石橋家住宅。10:00~18:00
(入館は17:30まで)。9/24(木)休館。無料。072-772-5959

プレビュー

*イベントにより、未就学児の入場の制限等がある場合がございます。
詳細は各施設にお問い合わせください。

9/25 (金)

最高レベルの室内楽をいたみホールで！

いたみホール



世界最高峰オーケストラ「ベルリン・フィル」のメンバーによる公式室内楽グループ「アンサンブル・ベルリン」。柔軟な演奏スタイルと多彩なプログラム。親しみやすくリラックスした雰囲気の中で、極上の室内楽をご堪能ください。

アンサンブル・ベルリン ジャパンツアー 2015

9/25(金) 19:00。一般3,500円、学生2,000円(当日各500円増)。
全席指定。072-778-8788

9/26 (土)

時代を越え、生き続ける「終わりなき歌」

いたみホール



魂に響く世界の歌。渾身の言葉で紡ぎ、時を刻むオリジナル曲。歌いつがれた心の歌。愛を求め、愛を生き、愛を歌った加藤登紀子のデビュー50周年記念公演。『ひとり寝の子守唄』『愛の讃歌』『百万本のバラ』などの名曲を。*曲目は変更する場合がございます。

50周年記念 加藤登紀子コンサート 終わりなき歌

9/26(土) 16:30。5,500円。全席指定。072-778-8788

10/18 (日)

オカリナ ア・ラ・カルト~夢の響宴~

伊丹アイフォニックホール



関西オカリナ界を牽引する奏者4人が集結する「夢の響宴」が実現！ソロ、デュオ、カルテットで、古今東西の名曲をアレンジ。オカリナのやさしい音色を、ア・ラ・カルトでお楽しみください！

オカリナ ア・ラ・カルト~夢の響宴~

10/18(日) 14:00。一般2,500円(当日500円増)。全席指定。
072-780-2110

開催中~ 8/30 (日)

ガラスや風鈴で涼を取り入れて

伊丹郷町館ほか



涼感を呼ぶガラスや涼しげな音色の風鈴を展示販売します。夏が楽しくなる作品を見つけに来てください。7/27(月)までは、クロスロードカフェでも同時開催いたします。

風の音・夏の色~ガラス・風鈴フェア~

クロスロードカフェ/開催中~7/27(月)。9:00~20:00。火休。
伊丹郷町クラフトショップ(伊丹郷町館 旧石橋家住宅1階) /
開催中~8/30(日)。10:00~18:00(入館は17:30まで)。
月休(祝日の場合、翌日休)。072-772-5557(工芸センター)

7/11 (土)~8/30 (日)

写楽 vs 豊国 珠玉の浮世絵を一堂に

美術館



東洲斎写楽
(嵐橋殿の金貨石印金吉)

東洲斎写楽と歌川豊国の作品を軸に、江戸の人々を夢中にさせた人気役者や力自慢の力士たち、寛政三大美人とうたわれた評判娘など、寛政期から幕末までの浮世絵約140点を紹介し、歌川派の役者絵と美人画の流れを展示します。

写楽と豊国 ~役者絵と美人画の流れ~

7/11(土)~8/30(日)。10:00~18:00(入館は17:30まで)。
月休(7/20は開館、7/21は振替休館)。一般800円、大高450円、
中小150円。072-772-7447。

7/19 (日)~7/20 (月・祝)

ハイバイの“笑って泣ける”人気作

アイホール



撮影：平岩享

東京の劇団「ハイバイ」の人気作。プロレスラーを夢見る引きこもりの登美男。唯一の理解者である妹と、外出を促す母との平和な日常は、「出張お兄さん」の登場で一変する…。

平成27年度公共ホール演劇ネットワーク事業 ハイバイ「ヒッキー・カンクントルネード」

7/19(日) 19:00。7/20(月・祝) 14:00/18:00。一般3,000円(当日500円増)。
25歳以下2,500円。全席自由。072-782-2000

アイテムおすすめのイベント

7/25 (土)~8/16 (日)

始原的な陶造形の世界へ

工芸センター、伊丹郷町館



山本健史は、陶を素材にして、有機物や石膏型を使いかたちを写しとる手法を主にして制作を行っています。本展では、工芸センターと旧岡田家住宅・酒蔵を会場に、始原的な土の質を活かした造形作品を展開します。スケールの大きな陶造形の世界をお楽しみください。

うつろい-土のかたち 山本健史作品展

7/25(土)~8/16(日)。10:00~18:00(入館は17:30まで)。
月休(祝日の場合、翌日休) 無料。072-772-5557

8/9 (日) ~ 8/29 (土)

ラストに素敵な写真が勢ぞろい

ラストホール



地域のみなさまから公募した、とっておきの写真・お気に入りの写真の展示会を行います。個性豊かな写真作品を、ぜひご覧ください。

こんなん掘りまし展 ~ラストで気軽に写真展~

8/9(日)~8/29(土)。平日・土/9:00~21:00。日・祝/9:00~17:00。
火休。入場無料。072-781-8877

8/21 (金)~8/23 (日)

妖怪たちと出会う不思議な物語

アイホール



おばあちゃんが亡くなって、残された昔の道具たち。夏休みのある夜、蔵の中に閉じ込められた小学生の兄妹の前に“もののけ”がフンサカあらわれ…。昭和生まれの大人と平成の子どもたちを繋ぐ、コワくてオモシロイお芝居。もののけやしきへ、さあ、いらっやい!

「みんなの劇場」子どもプログラム「とおのもののけやしき」

8/21(金) 19:00、8/22(土) 11:00/15:00、8/23(日) 11:00/15:00。おとな2,500円、
子ども1,000円。おとな子どもペア3,000円(前売のみ取り扱い)。全席自由。072-782-2000